

# 令和4年度 福島市在宅医療・介護連携支援センター 事業実績表

		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
① (ア)地域の医療・介護資源の把握	情報収集（医療・介護）	病院 MSW、包括支援へ訪問を中心にヒアリング → 県北緩和ケア社会資源情報 作成協力													
	専門職・市民へ周知	情報収集、ホームページを中心に案内・提供													
(イ)課題抽出と対応検討	運営協議会意見交換	会議にて活動報告 運協会議									運協会議				
	事業活動について随時	包括と連携し地域会議へ参加													
(ウ)切れ目ない在宅医療	在宅医療機関の現状と課題を把握	福島市在宅医療ネットワーク現状把握アンケート							集計						
	MSWと地域医療会議			①MSW と研修								②MSW、CW 地域連携研修			
② (オ)相談受付	相談受付・記入・集計	随時													
	関係機関への課題と対応策の検討及び提案	随時													
(キ)市民周知	市民公開講座					企画								3/16 講演会	
	包括圏域での研修	包括、民生委員協働													
	市民向け出前講座	随時													
(工)情報共有の支援	退院調整ルール評価	モニタリングアンケート調査依頼					集計				評価研修準備、研修				
	ICT 説明・活用研修会											事例研修			
	在宅医療支援者確認シート作成	在宅診療報酬算定チェックリスト作成													
(カ)研修企画	研修会企画・開催	(認知症)			①認知症ケア			②認知症スクリーニング			③認知症対応カステップアップ				
		(在宅医療・終末期)							終末期支援研修						
	他職種研修と開催協力														
③ 対策の評価・改善	①退院調整ルール連絡漏れ率（プロセス評価） ②自宅死亡率（プロセス評価） ③在宅医療の訪問患者数（プロセス評価） ④在宅医療の訪問患者率（アウトカム評価） ⑤自宅看取り数（プロセス評価） ⑥診療所数（ストラクチャー評価） ⑦在宅療養希望率（プロセス評価）		(評価指標根拠)				①県北地域退院調整ルールアンケート ②厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ」 ③④県北在宅緩和ケア社会資源情報 ⑤⑥厚生局 自宅看取り数、在宅療養支援診療所データ取寄 ⑦福島市介護予防・日常生活圏域二エズ調査								改善に向けた事業計画

# 令和4年度 10月～3月 福島市在宅医療・介護連携支援センター 活動報告

## (ア) 医療・介護資源の把握

令和4年度計画 (Plan)	活動内容 (10月～3月) (Do)	評価(Check)/改善(Action)
<p>①ホームページ作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集(医療・福祉)と提供</li> <li>・各団体の研修案内ページの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページによる周知、随時情報の更新</li> <li>・事業所検索にもの忘れ相談医を追加掲載</li> <li>・各包括、医療機関等の活用できる情報を随時追加掲載</li> <li>・出席できない方へ研修会報告の掲載 (写真、アンケート結果)</li> <li>・ホームページ閲覧数 月平均3,246件 (1日平均108件)</li> </ul>	<p>○ホームページが活用されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡先を確認するツールとして認知されてきた</li> <li>・各事業所からの情報提供を掲載</li> <li>・歯科医師会との調整、特老、老健の掲載を検討</li> </ul>
<p>②専門職・関係者、市民への周知</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源の把握のため病院連携訪問20か所 (10～12月実施、把握した現状のまとめは【資料】参照) 6、7月実施の全地域包括支援センター訪問結果をMSWに情報提供</li> <li>・県北地域在宅緩和ケア社会資源情報誌作成協力</li> <li>・もの忘れ相談医の把握 (随時更新)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で情報提供、連絡を取りながら状態把握を工夫している。</li> <li>・当センターHPの活用を提案し情報掲載を実施</li> </ul>

(イ) 課題抽出と対応検討

令和4年度計画 (Plan)	活動内容 (10月～3月) (Do)	評価(Check)/改善(Action)
①運営協議会・意見交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1/20 運営協議会開催 (令和4年度上半期事業報告、福島市の在宅医療についての意見交換)</li> </ul>	<p>運協委員から在タッチの業務及び、福島市の在宅医療についての現状について積極的に意見を聞く貴重な機会となった このような場を継続していく</p>
②地域会議への参加 (事業活動について報告)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月、包括ケア推進室、市保健所地域医療政策室と定例会の開催 (10/20、11/21、12/26、1/20、2/20、3/27)</li> <li>・ 12/6 福島市虐待アンケート意見交換会</li> <li>・ 1/26 こころの声アンケート検討委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例会では、地域の課題を報告と検討</li> <li>・ 各種事業実施後は実施状況をホームページに掲載</li> </ul>
③関係団体会議出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和4年度 医療と介護のネットワーク定例会 (10/13、1/26)</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10/4、12/19、2/24 オレンジプラン推進委員会ワーキング会議 (もの忘れ相談医対象連携強化研修・包括との連携強化に対する事業実施の協力)</li> <li>・ 福島市介護支援専門員連絡協議会役員会 (1/12、3/23)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域包括ケア推進のためにこの団体の活動は重要と捉えており、活動の継続、充実に向けて事務局機能を果たしていく</li> <li>・ 集まりお互い顔の見える関係を構築することが連携の第一歩。適宜、リスクを避けてZOOMを使い開催を継続していく</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域支援の課題や事業実施についての情報を確認、把握する</li> <li>・ 会議から出た案を具体的に協力 (周知協力、映像収録、配信など) した</li> <li>・ 研修会実施の際は協力していく</li> </ul>

(ウ) 切れ目ない在宅医療

令和4年度計画 (Plan)	活動内容 (10月～3月) (Do)	評価(Check)/改善(Action)
①在宅医療機関の現状と把握	資源の把握のため病院連携訪問20か所 (10～12月実施 把握した現状のまとめは【資料】参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島市の在宅医療の需要と供給の現状評価と今後の方向性を明確にする必要がある</li> <li>・在宅看取りの希望に対応できる医師の養成が求められている</li> <li>・在宅医療を支えるため医師や訪問看護、薬局等多機関の連携の一層の充実が求められている</li> </ul>
②アウトリーチ (同行) 支援システムの構築	現在実施している大崎市、松戸市医師会の資料を参考に、方法、手順、依頼文書を準備	医師のアウトリーチが実施できる体制準備について市医師会へ相談する必要がある
③MSWとの地域医療会議	医療ソーシャルワーカーと福島市ケースワーカーとの合同研修会を準備	ZOOMでの実施方法を検討しながら実施したい
④医療と介護のネットワーク充実支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「福島市医療と介護のネットワーク」事務局として役員会および定例会の運営協力 (役員会11/24、2/9)</li> <li>・令和5年度総会にむけての準備</li> </ul>	地域包括ケアシステム構築のための重要な団体であることから、しっかりした組織として持続可能な体制を作っていく

(工) 情報共有の支援

令和4年度計画 (Plan)	活動内容 (10月~3月) (Do)	評価(Check)/改善(Action)
①退院調整ルール評価	2/22「退院調整ルール評価アンケート」評価 会議の協力 (ZOOM会議)	・包括25.7% 居宅12.7% 計15.7% (県北院調整ルール評価アンケート令和4年6, 7月) 連携は取れているとの意見が多いが、ルールに関して再度確認する必要がある  ・来年度は集合研修で情報共有や書式等、改善に向けた話し合いの場を持つようにする
②ICT説明・活用研修会	ICT研修会を開催 1/18 キビタンケアネット 福島県医療福祉情報ネットワーク協議会 明石氏 20名 (ZOOM) 1/26 MCS (メディカルケアステーション) 郡山在宅医療・介護連携支援センター 国分氏 16名 (ZOOM)	・ICTの研修への申し込みが少ない。連携している事例を中心に研修内容を工夫していく ・情報提供だけであったが、来年度からMCSの周知と活用を推進していく
③在宅療養支援者確認シート作成	身寄りのない方の支援について情報収集し シートを作成中	作成にむけた準備(情報収集)を進める ワーキンググループの設置も検討していく

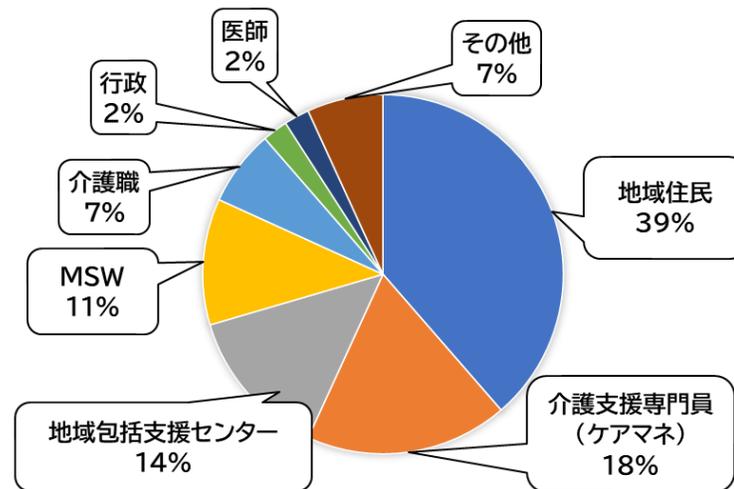
## (才) 相談受付

令和4年度計画 (Plan)	活動内容 (10月～3月) (Do)	評価(Check)/改善(Action)
①相談受付・記入	<ul style="list-style-type: none"><li>相談件数 44件 (月平均7.3件)</li><li>時間外や土日祝も電話を受けられる体制を継続</li></ul>	<p>【相談方法】「電話」82%「来所」16%「訪問」2%</p> <p>【相談者】計44人 内訳：包括6件、ケアマネ8件、住民17件、行政1件、MSW5件、薬剤師3件、医師1件、ヘルパー3件、その他3件</p>
②相談内容の整理	<ul style="list-style-type: none"><li>相談内容 延べ47件 (1件の相談でも複数の相談項目有)</li><li>対応 延べ49件 (対応項目も複数有)</li><li>相談内容、対応の内訳は グラフ 参照</li></ul>	<p>【相談内容】 「医療・介護の制度、サービスの情報提供」が最も多く、次いで「在宅医療」についての相談が多い。 内容として、市民から「在宅医療を受けたいがどのような手続きを取ればよいのか紹介してほしい。」ケアマネから「主治医意見書を書いてもらえない」、「主治医の変更の対応について」、「たん吸引医療依存度の高い方の支援の相談」がある。 また施設入所中だが、在宅医療や介護を利用をして自宅へ返したいと思っている相談、身寄りのない方の支援について備えていくことに関する相談が増えている。</p> <p>【対応】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>相談窓口の情報提供、紹介が最も多い。何らかの具体的な方法を紹介、上手く行かないときは再度連絡もらうことにしている</li><li>相談内容を定例会、所内会議にて対応を確認している</li></ul>
③関係機関へ課題と対応策の提案	定例会および運営協議会にて報告 相談実績から課題の検討	<p>【実績からの検討課題】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>困難事例の相談に対応できるよう相談スキルを高めていくことが必要である</li><li>在宅医療や受診に関する相談に対しては、医師との顔の見える関係づくりやアドバイスが得られる仕組みの検討が必要</li></ul>

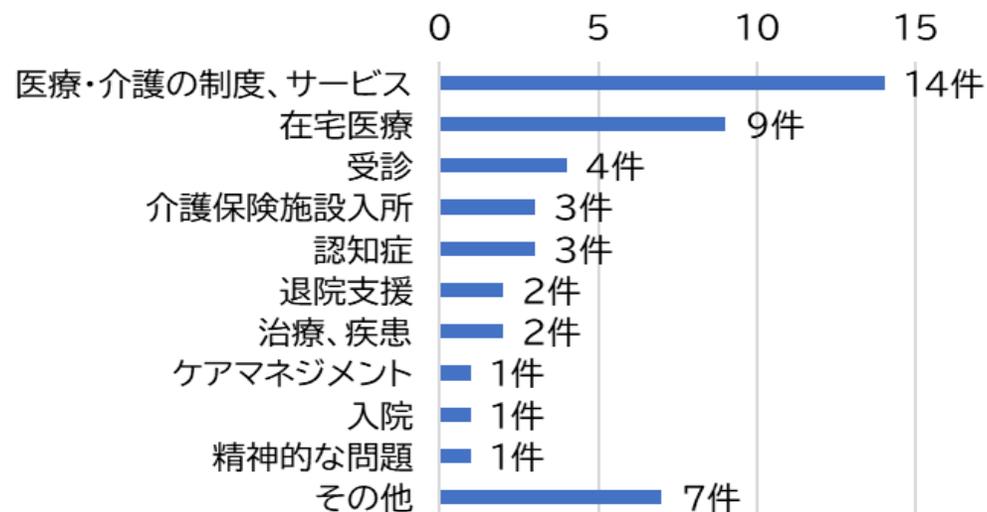
# 相談内容と対応

令和4年度下半期(10月～3月)相談件数 44件

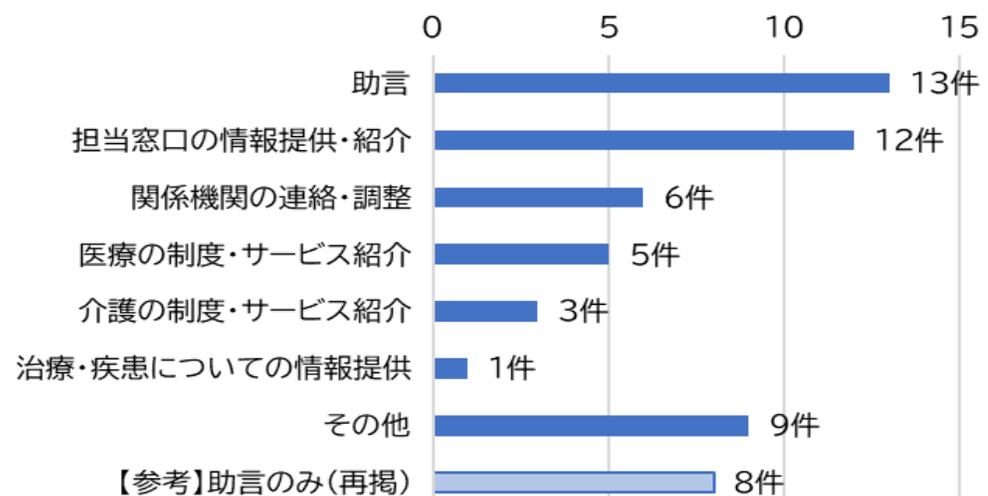
## 【相談者44人の内訳】



## 相談内容(延べ47件)の内訳



## 対応(延べ49件)の内訳



(カ) 研修企画

令和4年度計画 (Plan)	活動内容 (10月～3月) (Do)	評価(Check)/改善(Action)
①研修会企画・開催	<p>【医療・福祉セミナー研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11/10 第23回「警察署の方から伺う～認知症高齢者の保護や捜索の現状とそこから見えた課題～」福島県福島警察署 生活安全課 課長 松川剛 氏 WEB視聴回数329回</li> <li>・2/25 第24回「一歩近づく質問力～ぐっと近づく関係性を手にする方法～」精神科医・美容皮膚科医 茂木千明 先生 WEB視聴回数291回</li> </ul> <p>【認知症対応支援研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12/15「認知症スクリーニング研修」あずま通りクリニック小林直人医師 会場1名 WEB視聴数126回</li> <li>・2/25～3/5認知症ステップアップ研修「これって虐待かも？なんか変かも！その違和感を大切にしましょう」WEB視聴回数507回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申込み・視聴回数等が、集合研修を上回る状況にあり、対象となる専門職もオンラインでの研修に慣れてきていることを感じる</li> <li>・集合研修が実施できるようになっても、Web配信研修も継続する意味はあると思われる</li> <li>・主任介護支援専門員向け準備が進まず開催できなかった</li> </ul>
②多職種連携研修会 他団体の研修会協力・案内協力	<p>依頼による研修協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1/20 市医師会 かかりつけ医と主治医意見書 医師対象</li> <li>・1/27 市医師会 在宅医療研修 医師対象</li> <li>・1/31もの忘れ相談医との連携強化研修 包括支援センター対象</li> <li>・2/9もの忘れ相談医への「インタビュー動画」等の案内周知</li> <li>・2/10ふくふくオレンジフェスタ認知症に関する啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種連携について、連携の実態や連携のための方法についての関心が高く、講義の依頼があった</li> </ul>
③主任介護支援専門員 フォローアップ研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月 ケアマネ向け市高齢者虐待対応研修 収録協力</li> <li>・「スーパービジョン」についての研修会開催を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・包括連協ケアマネ部会等と連携しながら現状に合った有意義な研修を開催していく</li> </ul>

(キ) 市民周知

令和4年度計画 (Plan)	活動内容 (10月～3月) (Do)	評価(Check)/改善(Action)																																																								
<p>①市民向けミニ講座</p> <p>(1) 在宅医療について</p> <p>(2) 私の人生ノート書き方</p> <p>(3) もしバナゲーム</p>	<table border="0"> <tr> <td>(1)</td> <td>12/9</td> <td>女性アカデミー</td> <td>(10名)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11/17</td> <td>ふくしまマスターズ4期生会</td> <td>(16名)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3/12</td> <td>北信カルバリースマイルカフェ</td> <td>(16名)</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>8/1</td> <td>庭塚大学 高齢者学級</td> <td>(15名)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8/24</td> <td>小倉寺町内会</td> <td>(10名)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10/4</td> <td>吉井田包括介護予防教室</td> <td>(14名)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11/8</td> <td>渡利春日町会員</td> <td>(30名)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11/17</td> <td>ふくしまマスターズ4期生会</td> <td>(16名)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11/30</td> <td>つむぎの会</td> <td>(12名)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12/10</td> <td>泉地区健康講座</td> <td>(36名)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1/24</td> <td>関屋ふれあいサロン会員</td> <td>(22名)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3/2</td> <td>渡利東町町会女性部員</td> <td>(23名)</td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td>9/14</td> <td>いきがいサークル</td> <td>(9名)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12/9</td> <td>アオウゼ健康講座</td> <td>(18名)</td> </tr> </table>	(1)	12/9	女性アカデミー	(10名)		11/17	ふくしまマスターズ4期生会	(16名)		3/12	北信カルバリースマイルカフェ	(16名)	(2)	8/1	庭塚大学 高齢者学級	(15名)		8/24	小倉寺町内会	(10名)		10/4	吉井田包括介護予防教室	(14名)		11/8	渡利春日町会員	(30名)		11/17	ふくしまマスターズ4期生会	(16名)		11/30	つむぎの会	(12名)		12/10	泉地区健康講座	(36名)		1/24	関屋ふれあいサロン会員	(22名)		3/2	渡利東町町会女性部員	(23名)	(3)	9/14	いきがいサークル	(9名)		12/9	アオウゼ健康講座	(18名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎年、出前講座の依頼が増えている</li> <li>・ 市民向けに周知し共催できる包括や事業所を増やしていく</li> <li>・ ACPやエンドオブライフケアについて、別の媒体（もしバナゲーム等）を新しく出前講座に追加した</li> <li>・ 開催前後にアンケートを取り、より理解が深まる講座を提供してい</li> </ul>
(1)	12/9	女性アカデミー	(10名)																																																							
	11/17	ふくしまマスターズ4期生会	(16名)																																																							
	3/12	北信カルバリースマイルカフェ	(16名)																																																							
(2)	8/1	庭塚大学 高齢者学級	(15名)																																																							
	8/24	小倉寺町内会	(10名)																																																							
	10/4	吉井田包括介護予防教室	(14名)																																																							
	11/8	渡利春日町会員	(30名)																																																							
	11/17	ふくしまマスターズ4期生会	(16名)																																																							
	11/30	つむぎの会	(12名)																																																							
	12/10	泉地区健康講座	(36名)																																																							
	1/24	関屋ふれあいサロン会員	(22名)																																																							
	3/2	渡利東町町会女性部員	(23名)																																																							
(3)	9/14	いきがいサークル	(9名)																																																							
	12/9	アオウゼ健康講座	(18名)																																																							
<p>②包括との合同</p>	<p>・ 上記出前講座 渡利 8/24、吉井田10/4、杉妻11/30、清水東12/10</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 包括と関わりのある団体むけに合同で実施できた</li> <li>・ 包括でも開催できるよう包括へのレクチャー、資料の提供等協力していく</li> </ul>																																																								
<p>③市民公開講座開催</p>	<p>「市民公開講座」3月23～4月2日配信「一人暮らしでも大丈夫！？知って安心。住み慣れた場所で最後まで過ごせる福島市」</p> <p>WEB視聴回数 5 4 3 回</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手話通訳者による動画も導入した</li> <li>・ 市民の側に立った講演、情報提供を行っていく</li> </ul>																																																								

## 関係市町村連携

令和4年度計画 (Plan)	活動内容 (10月～3月) (Do)	評価(Check)/改善(Action)
<p>近隣市町村や県内で開設している在宅医療・介護連携支援センターと情報共有や情報交換</p>	<p>10/19 県内在宅医療・介護連携支援センター連絡会 (ZOOM)</p> <p>3/29 県内在宅医療・介護連携支援センター連絡会 (ZOOM)</p> <p>・県内の各センター間では、必要時メディカルケアステーション (MCS) のグループ機能を使用しての情報交換を実施</p> <p>2/8 相馬郡医師会主催 在タッチの活動、取組について (かしま交流センター)</p>	<p>・県内センター同士で情報交換をMCSで行っている</p> <p>・在宅医療・介護連携推進事業の関係市町村連携について協力していく</p>

# 福島市在宅医療推進に関する指標（令和4年度）

	指標となる項目	評価の基準（在タッチ設置前データ）	令和4年度把握データ
1	退院調整ルール 連絡漏れ率	平成30年度 包括18.2% 居宅10.9% 計12.3%	包括25.7%、居宅12.7% 計15.7% （県北院調整ルール評価アンケート令和4年6, 7月）
2	自宅死亡率	19.1% 厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集 平成29年」 （更新日：令和元年6月19日）	22.3% 厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集 令和4年度」 （更新日：令和4年6月23日）
3	在宅医療の訪問患者数 （訪問実施実人数）	2,961人 平成31年1月改訂県北地域在宅緩和ケア社会資源情報（平成30年調査・回答医療機関数 31か所）	3,084人 令和4年2月改訂県北地域在宅緩和ケア社会資源情報（令和4年調査・回答医療機関数 28か所）
4	自宅看取り数・診療所数	422名・23か所 平成31年1月改訂県北地域在宅緩和ケア社会資源情報（平成30年調査・回答医療機関数 31か所）	583名・19か所 令和4年1月改訂県北地域在宅緩和ケア社会資源情報（令和4年調査・回答医療機関数 28か所）
5	自宅療養希望率	32.2%（できるだけ自宅で療養し必要なら病院） 32.7%（自宅で死を迎えたい） （令和元年度、介護予防・日常生活圏域二一ズ調査）	30.6%（できるだけ自宅で療養し必要なら病院） 37.0%（自宅で死を迎えたい） （令和4年度、介護予防・日常生活圏域二一ズ調査）

※ 3, 4 に関してはアンケート調査形式のため、確認作業もしくは東北厚生局へ情報を請求するなど、今後において参考となる指標にするための検討が必要

その他の取組

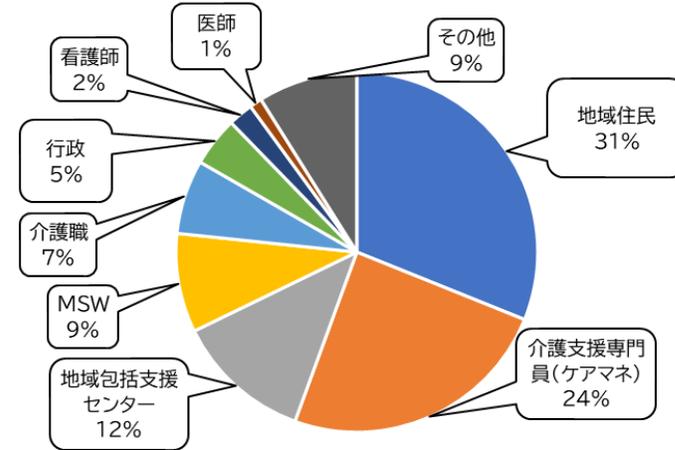
令和4年度計画 (Plan)	活動内容 (10月～3月) (Do)	評価(Check)/改善(Action)
① AYA世代のがん医療情報と支援取組	福島市若年がん患者在宅療養支援事業 周知協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島市保健所地域医療政策室との情報交換を継続</li> <li>・がん拠点病院相談支援のメンバーと情報を共有</li> </ul>
② 障がい者支援	共生社会推進課へどのような相談があるか情報をお聞きした今後、専門職にむけて研修を準備していく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支援では、介護保険だけでなく、障がい福祉や難病支援等との連携も必要である</li> <li>・今後も、センター事業に活かせるような情報交換を継続していく</li> </ul>
③ 医療・福祉職人材育成	県介護支援専門員法定研修講師依頼への対応 (法定研修 専門Ⅰ、専門Ⅱ、主任、主任更新、実務の講師)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療を支える人材の育成は必要</li> <li>・講師依頼があれば、協力していく</li> </ul>
④ 学会、研修等参加	11/22千葉県松戸市在宅医療・介護連携支援センター視察研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松戸市：地域を一つのバーチャル病院ととらえ、医師が地域ケア会議に出席、アウトリーチするなどの地域サポート医、二人主治医制、在宅医療のスタートアップや質向上を柱に活動。</li> <li>・在宅医療学会に発表する準備を行い、学会参加および研修に参加したい</li> </ul>

# 【参考】

## 令和4年度 相談内容と対応

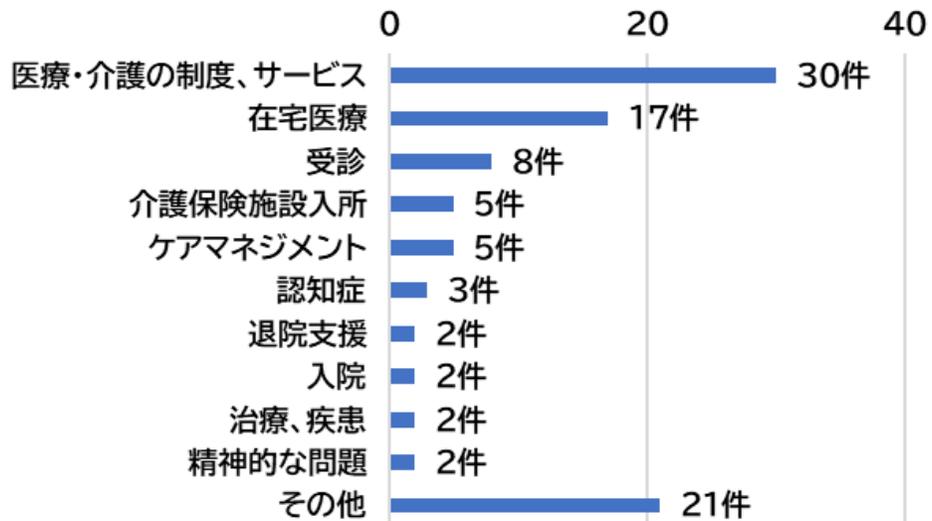
(相談件数 90 件)

### 【相談者90名の内訳】



### 【相談内容(97件)の内訳】

(件)



### 【対応(延べ109件)の内訳】

(件)

